



SSID モニタリング設定の管理

- [SSID モニタリングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [SSID モニタリングの設定 \(2 ページ\)](#)
- [SSID モニタリングのプロビジョニングステータスの表示 \(3 ページ\)](#)

SSID モニタリングの概要

デフォルトでは、Cisco DNA Assurance ですべての SSID に関するテレメトリデータをモニターおよび収集します。ただし、ネットワーク内のすべての SSID をモニターする必要がない場合のシナリオもあります。たとえば、ゲストまたはパブリック Wi-Fi サービスを提供する小売、輸送、またはサービス業のユースケースのように、ユーザー数が非常に多くなる可能性があります。このようなシナリオでは、上記の SSID に対するモニタリングをオフにする一方で、同じインフラストラクチャからの企業 SSID に対する豊富なデータは継続して収集することができます。

特定の SSID に対する SSID モニタリングを、その SSID の設定や SSID へのワイヤレス接続に影響を与えることなく有効または無効にすることができます。AP の SSID 機能への影響もありません。ワイヤレスクライアントは、設定に従って、該当する SSID および他のすべての SSID に引き続き接続します。モニタリング対象の SSID のクライアントは、引き続き [Client 360] ウィンドウの詳細データを使用できます。

SSID がモニタリングされていない場合、Cisco DNA Assurance はクライアントデータを収集しません。その場合、[Client 360] ウィンドウで、該当するクライアントの詳細データとグラフを使用することはできません。また、クライアントの正常性、クライアント固有の問題、インテリジェントキャプチャなどの他のデータも、これらのクライアントに関しては使用できません。さらに、[Client Health] ウィンドウのダッシュレットには、モニタリング対象ではない SSID のクライアントからのデータは含まれません。



- (注) Cisco AireOS ワイヤレスコントローラに関する SSID モニタリングはサポートされていません。Cisco AireOS ワイヤレスコントローラに関して、Cisco DNA Center は、モニタリングが無効になっている SSID のテレメトリデータをドロップします。

左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance]>[SSID Monitoring Settings]を選択して[SSID Monitoring] ウィンドウを表示します。[SSID Monitoring] ウィンドウから、次の手順を実行できます。

- SSID モニタリング設定を表示する。
- 特定の SSID の SSID モニタリングを有効または無効にする。詳細については、[SSID モニタリングの設定 \(2 ページ\)](#) を参照してください。
- 設定された SSID モニタリングアクションに関するプロビジョニング要求を表示および管理する。詳細については、[SSID モニタリングのプロビジョニングステータスの表示 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

SSID モニタリングの設定

デフォルトでは、すべての SSID がモニタリングされます。ただし、1 つ以上の SSID のモニタリングをいつでも無効にしたり、再度有効にしたりすることができます。SSID モニタリング設定を更新するには、次の手順を使用します。

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance]>[SSID Monitoring Settings]の順に選択します。

[SSID Monitoring] ウィンドウが開き、自分の SSID が表示されます。

ステップ 2 (任意) SSID のリストを絞り込むには、フィルタアイコン (▼) をクリックし、アクティブなフィールド ([Network Name (SSID)]、[DNAC Monitoring Status]、[Action]、または [Controller Config Status]) のいずれかに値を入力します。

フィルタを使用して、表示しない SSID やトラブルシューティングを行わない SSID を除外します。たとえば、テスト用に作成された SSID、社内 IT で使用する SSID、またはゲスト SSID (空港や地下鉄など) は表示する必要がないかもしれません。

ステップ 3 [Action] 列で、SSID に対応する [Disable] または [Enable] オプションをクリックします。

ステップ 4 slide-in pane で、次の手順を実行します。

- a) SSID モニタリングの変更を今すぐプロビジョニングするか、後で実行するようにスケジュールするか、または選択したデバイスに設定を展開するために後で使用できるプレビューを作成するかを選択します。
- b) [Task Name] フィールドにタスクの名前を入力します。
- c) [Apply] をクリックします。

次のタスク

スケジュールされた SSID モニタリングタスクのステータスを表示するには、[SSID Monitoring] ウィンドウで [Activity Page] をクリックします。または、メニューアイコンをクリックして選択 [Activities]>[Tasks]を選択します。

[Generate Preview] を選択した場合、ステータスを表示するには、メニューアイコンをクリックして選択 [Activities] > [Work Items] を選択します。

SSID モニタリングのプロビジョニングステータスの表示

SSID モニタリング設定のプロビジョニングステータスを表示するには、次の手順を使用します。

- ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance] > [SSID Monitoring Settings] の順に選択します。
[SSID Monitoring] ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** テーブルで必要な SSID 名をクリックします。
クリックすると、slide-in pane にその SSID に対する SSID モニタリングのプロビジョニング要求のステータスが表示されます。

プロビジョニングステータス	説明
Configuring	ワイヤレスコントローラで SSID モニタリングアクションの設定が進行中であることを示します。
Not Started	ワイヤレスコントローラに SSID モニタリングアクションがまだ設定されていませんが、設定がまもなく開始されることを示します。
Pending	SSID モニタリングアクションがキューに入れられており、ワイヤレスコントローラが間もなく設定されることを示します。
成功	ワイヤレスコントローラで SSID モニタリングアクションがプロビジョニングされたことを示します。
不合格	ワイヤレスコントローラで SSID モニタリングアクションがプロビジョニングされていないことを示します。
N/A	ワイヤレスコントローラがテレメトリの無効化をサポートしていないソフトウェアを実行していることを示します。Cisco DNA Center は SSID のテレメトリデータをドロップします。

次のタスク

SSID のプロビジョニングステータスが [Failed] で、再度ワイヤレスコントローラのプロビジョニングを試みる場合は、[Retry Failed Configuration] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。